

安心・簡単設置の伸縮式つっぱり棒 エアーポール
『エアーポール専用スピーカー取付け金具』
 対応型番: AP-SWB101-1S (ポール1本付き) **取付設置方法及び取扱い説明書**
 AP-SWB101-2S (ポール2本付き) (伸縮範囲: 2.0m~2.8m/ つっぱり棒耐荷重: 50kg)
 AP-SWB101 (スピーカー取付け金具のみ)

**本説明書は作業工程内で重要な指示が記載されています。
 よくお読みの上、取付け設置作業を行って下さい。**

このたびは弊社商品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
 本説明書は、お取り付けのポール本数や金具の種類に応じて複数の取付け方法を記載しています。
 適切な箇所をよくお読みのうえお取り付け下さい。
 エアースペーサーには鋭利な部分があります。取扱いには十分ご注意ください。
 ※万一部品等不足があった場合、また不良品だった場合は速やかに販売店までご連絡下さい。

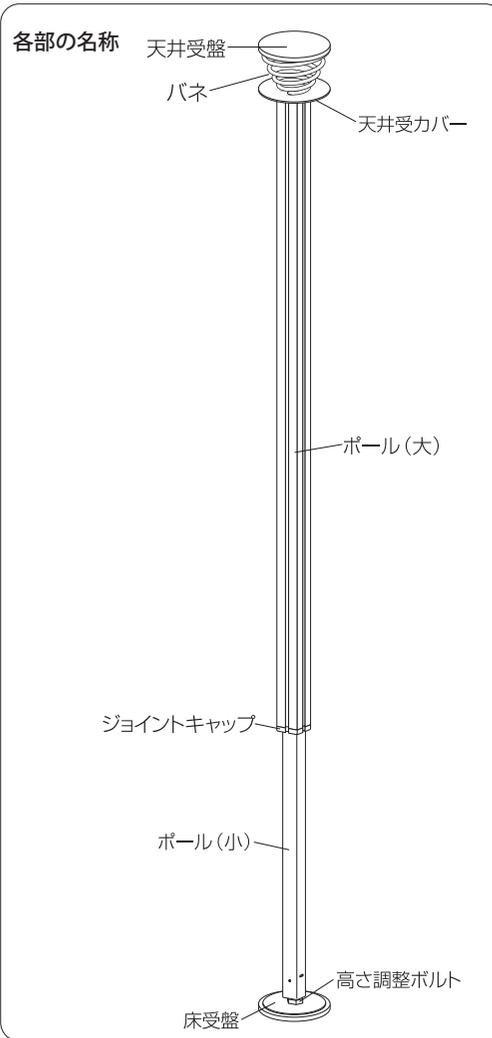
警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷を負う恐れがある内容を示します。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我をしたり家屋や家財などに損害を受ける恐れがある内容を示します。

十分に注意する内容を示します。 **!** 必ず指示に従って行う内容を示します。

絶対にしてはいけない内容を示します。

- 警告** つっぱり棒の耐荷重は 50kg です。これ以上重い物を掛けたり、故意に強い衝撃を与えないでください。つっぱり棒が外れ、破損や怪我をする恐れがあります。
- 警告** この商品は強力に突っ張って取り付けを行います。エアースペーサーを使用しない場合は、天井裏に梁が通っている所、または鉄筋コンクリートなど天井下地のある場所や補強のある場所に取り付けてください。また、エアースペーサーを使用する場合でも場所によっては天井が浮いたり、破損する恐れがありますので十分に注意し取り付けを行ってください。
- ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取り付けは、取付け箇所が破損したり、本体が外れる恐れがありますのでおやめください。
- 取付けは、必ず垂直になるように固定して下さい。
- !** 火気器具等はそばに取り付けしないでください。火災の原因になる恐れがあります。
- 取付けの際は怪我をしない様十分にお気を付けてください。エアースペーサーは鋭利な部分がありますので十分に注意してください。
- 商品の分解・改造及び部品の改造は絶対にしないでください。
- 既に他のエアーポール金具をお取付済の場合は、一旦、他の取付済のアタッチメントを外す作業が必要な場合がございます。その際はお取付け手順をご確認の上、安全を考慮して行って下さい。
- 畳や絨毯の上に取り付けを行った場合、外した場合に取り付け跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合があります。
- 上記に関しての問題が生じた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。お客様ご自身で安全面等判断し、十分に注意したうえでご使用願います。
- エアースペーサーを使用した際の設置穴及び設置跡に関しては、原状復帰（原状回復）の不要を確約する限りではございません。取付ける場所や材質、設置年数、または管理会社の判断によっては原状復帰（原状回復）の必要がある場合がございます。その際の費用等に関しては弊社は一切関与致しません。



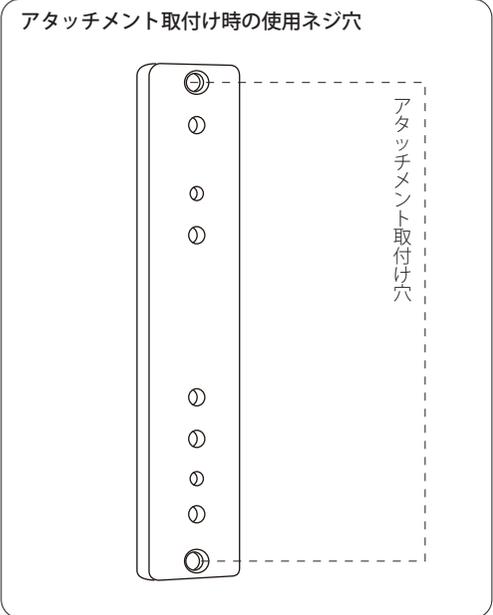
●ポール設置時に使用する付属品

スパナ

高さ調節ボルト目安テープ (設置時の目印用テープです)

エアースペーサー
 エアーキャップ (天井部取り付け)
 特殊面ファスナー (床部取付け・予備あり)
 取付け場所・好みにより使用下さい。

※上記エアースペーサー一式は小さな箱に入っております。箱から取り出す際は怪我をしない様お気をつけて下さい。



●目次

表紙/ポールの設置に関する注意・・・P1

【ポール設置方法】
 通常設置・・・・・・・・・・・・・・P2
 エアースペーサーを使用したの設置方法・・・P3
 ポール取り外し方法/伸縮調整・・・・・・P4

【スピーカー設置方法】
 スピーカー取付け金具の設置に関する注意・・・P5
 スピーカー本体をエアーポールに設置する・・・P6
 ※AP-SWB101(スピーカー取付け金具のみ)の部品リストはP5をご参照下さい。

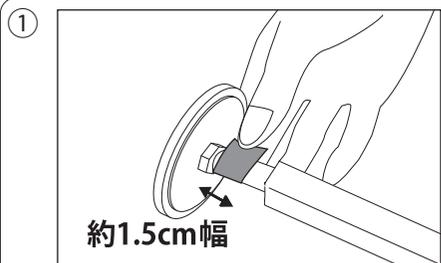
ポール設置方法(通常設置)

⚠ 設置前の注意

取付け手順はしっかりと守ってください。人や物にぶつからない様、周りには十分に注意して取付け作業を行ってください。スピーカーを設置したい位置もご確認ください。

● 使用部品 ※ポール本数で部品数が異なります

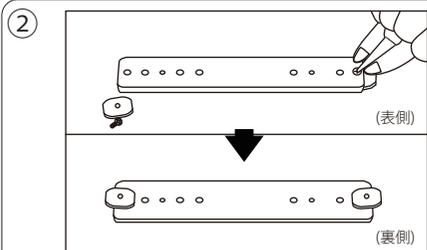
部品名	記載番号	イラスト	入数 1本 / 2本
高さ調節ボルト 目安テープ			2枚 / 4枚
アタッチメント	aa		2個
コマ	bb		4個
アタッチメント 取付用皿ネジ	cc		4個
スパナ			1個 / 2個
回転止め			2個 / 4個



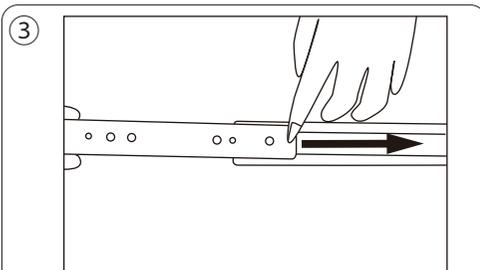
床受盤を回し、高さ調節ボルトの上側の部分を出してください。上図を参考に高さ調節ボルト目安テープを貼り、そのテープが見える程度に出しておいてください。テープは約1.5cm幅の部分が高さになるように貼ってください。

最後にこの部分を締めつけて固定をする為、この部分に余裕がないと取外しが困難になる場合があります。

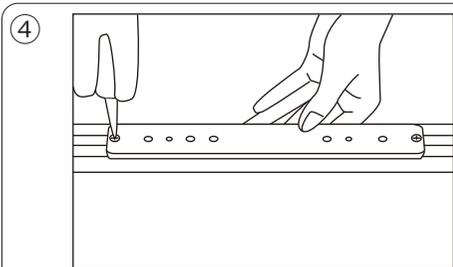
※必ずこの作業を行うようにしてください。



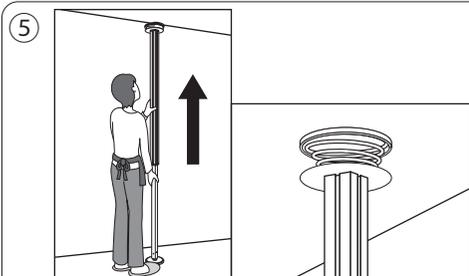
部品 (aa,bb,cc) を使用してアタッチメントにコマを2点取付けてください。その際、アタッチメントの裏表とネジの取付け穴位置に注意して下さい。また、③でポールに取り付ける為コマとアタッチメントの間は隙間を空けてください。



②で取り付けしたコマをポール(大)の溝の部分にスライドさせるように入れてください。



ポールを立てた際に落ちない様、適当な部分で仮止めを行ってください。

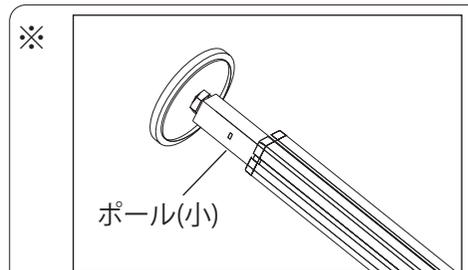


ポールを上へ伸ばし、取付けを行いたい場所で軽くバネが縮む程度に仮止めをします。あまり強く取付けない様注意してください。

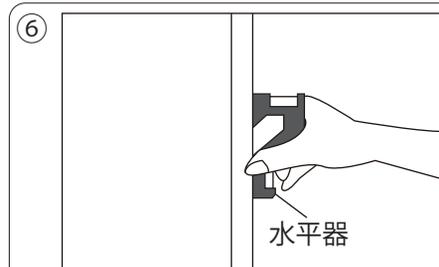
天井に梁が通っている所または鉄筋コンクリートなど天井下地や補強のある場所に取り付けてください。それ以外の場所では、天井が浮いたり破損する恐れがございますので十分に注意し取付けを行ってください。

⚠ 注意
ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取り付けは本体が外れたり破損する恐れがありますのでおやめください。

畳や絨毯の上に設置した場合、外した際に設置跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合がございます。

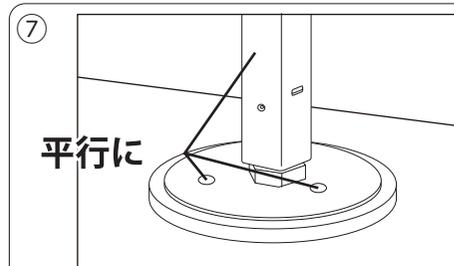


ポール(小)の部分が出過ぎている場合、床受盤を上に向けてる事で中にしまう事が出来ます。下を向けたまま(通常の状態)だとロックがかり短くなりませんのでご注意ください。
※詳しい手順は4ページ目『ポールを伸ばし過ぎた場合』をご覧ください。

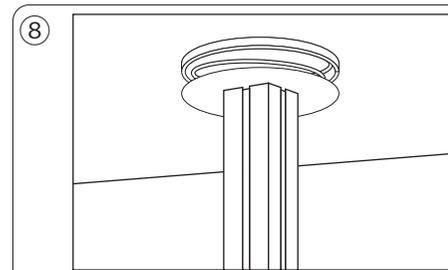


仮止めを行った後、全体を確認しながら水平をとってください。図の様に水平器があると便利です。

⚠ 注意
つっぱり棒には伸縮防止機能がついていますが、ポール(大)部分を持つとポールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節する際は必ずポール(小)の部分を持って移動するようにしてください。

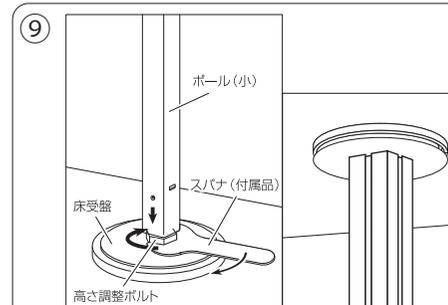


水平がとれたら、ボールの面と床受盤の穴2点が平行になるように調節して下さい。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりととはまらない場合がございます。



項目のまでに行った作業をもう一度確認し、問題が無ければ設置します。上図の様に少しバネが見える程度まで天井に押しつけてください。

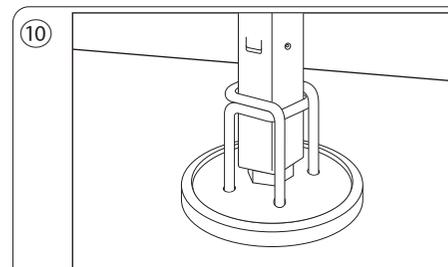
⚠ 注意
必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。



十分に押し込んだら、スパナで高さ調節ボルトを右回りに回して固定力を強めてください。

※回し過ぎに注意して下さい。天井や床が破損したりボルトがなめしてしまう可能性があります。

※取付け後は手で軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。



最後に、回転止めを取り付けてポールが回転するのを防ぎます。
※4ページ目の『回転止めの使用方法』をご参考下さい。

AP-SWB101-2Sの場合は同様に2本目もお取付け下さい。

ポール設置方法
(エアースペーサーを使用したポール設置方法)

注意

作業を行う前に、エアースペーサーを付けない状態で位置の調節など確認作業を行ってください。エアークャップが天井にしっかりと刺さってしまうと移動や調整が困難になります。

この『エアースペーサーを使用したポール設置方法は、2ページ目の『通常設置』を参考にする箇所があります。本ページと2ページ目を確認した上で設置作業を行ってください。

警告 エアースペーサーの天井受盤に取り付けるキャップは鋭利な部分がございます。取扱いは十分ご注意ください。

警告 エアースペーサーを使用して設置を行う場合には、周りに注意し、特に小さいお子様には触れさせない様にして下さい。怪我をする恐れがあります。

注意 エアースペーサーを使用する場合でも、場所によっては天井が浮いたり、破損する恐れがありますので、十分に注意し取り付けをしてください。

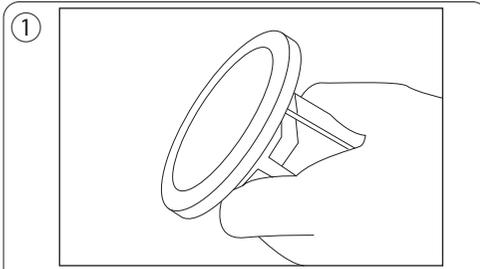
注意 取付けは、必ず垂直になるように固定して下さい。

注意 取り付け手順はしっかりと守ってください。人や物にぶつからない様、周りには十分に注意して取り付け作業を行ってください。

● 使用部品 ※ポール本数で部品数が異なります

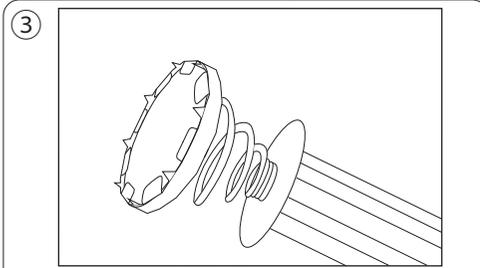
部品名	記載番号	イラスト	入数 1本/2本
エアースペーサー			1 / 2
エアークャップ			セット
特殊面ファスナー			セット
高さ調節ボルト			2枚 / 4枚
目安テープ			
アタッチメント	aa		2個
コマ	bb		4個
アタッチメント	cc		4個
スパナ			1個 / 2個
回転止め			2個 / 4個

特殊面ファスナーは1組の予備があります。



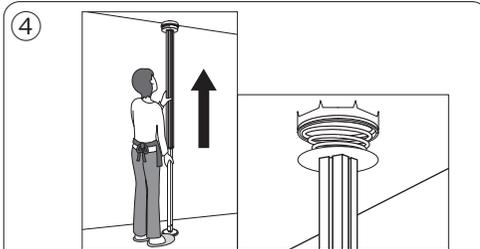
床受盤の裏側に特殊面ファスナーのザラザラした方（円が小さい方）を貼り付けて下さい。その際、床受盤のゴムを一度乾いた布等で綺麗に拭き、ゴミ等を落としてください。

② 2ページ目の『通常設置』を参考に、①～④項目までを同じ手順で作業して下さい。



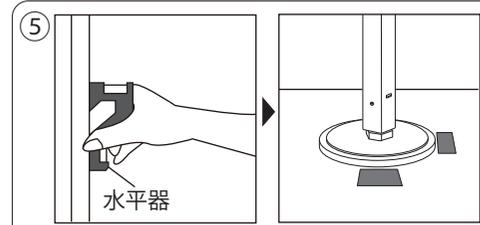
仮止めを行う前に、エアークャップを天井受盤に取り付けます。奥までしっかりとはめてください。

注意 エアークャップは表面に鋭利な部分がありますので、取付け時は十分に注意して下さい。エアークャップを取り付けたまま移動やポールの長さ調節をする際は周りに人がいないか確認を忘れないでください。



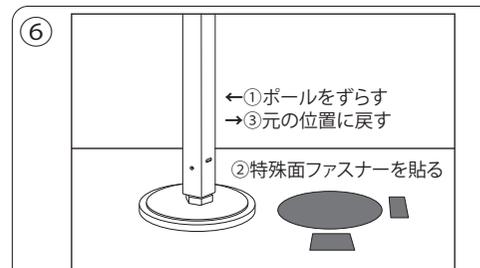
取付けを行いたい場所を決め、ポールを上へ伸ばして仮止めをします。その際、天井受盤のエアークャップの先端が少し刺さる程度の仮止めにして下さい。深く差し過ぎるとエアークャップが固定され、位置の調整が困難になります。

注意 エアークャップには鋭利な部分がある為、つっぱり棒をむやみに振り回したりしないで下さい。エアークャップが天井に取り付いてしまった場合、天井から外して再度天井受盤に取付けを行ってください。



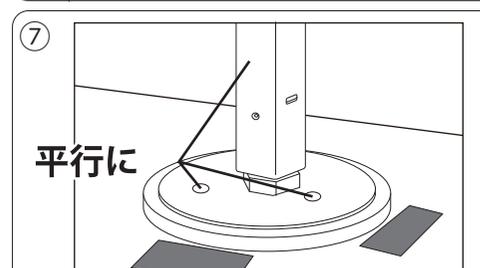
仮止めを行った後、全体を確認しながら水平をとってください。図の様に水平器があると便利です。水平が取れたら、特殊面ファスナーの受け側を床に張り付ける為、水平位置にテープ等で目印を付けて下さい。

注意 つっぱり棒には伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節の際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



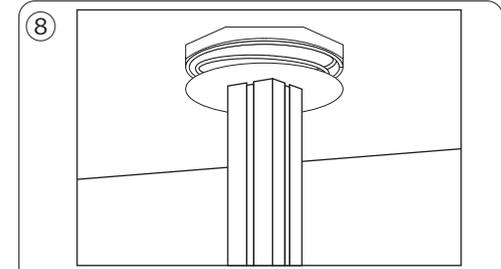
ポールの下部を少しずらし、目印を付けた場所に特殊面ファスナーの受け側（円が大きい方）を張り付けます。張り付けたらポールを元の位置に戻してください。天井受盤部がずれないように注意して下さい。

注意 つっぱり棒には伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節の際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



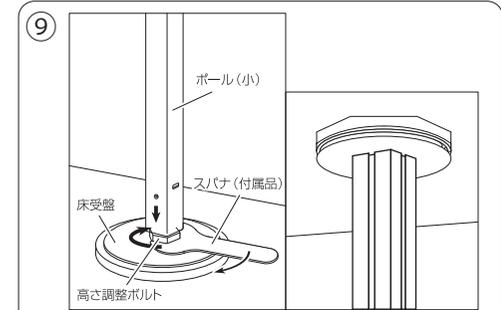
ポールの面と床受盤の穴2点が平行になるように調節して下さい。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりとハマらない場合がございます。

AP-SWB101-2Sの場合は同様に2本目もお取付け下さい。



項目のまでに行った作業をもう一度確認し、問題が無ければしっかりと固定します。上図の様に少しバネが見える程度まで天井を押しつけてください。

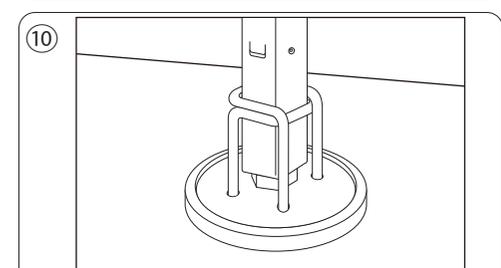
注意 必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。



十分に押し込んだら、スパナで高さ調節ボルトを右回りに回して固定力を強めてください。

※回し過ぎに注意して下さい。天井や床が破損したりボルトがなめてしまう可能性があります。

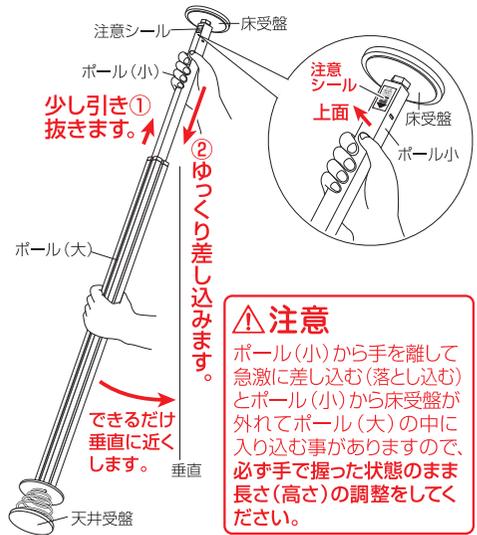
※取付け後は手で軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。



最後に、回転止めを取り付けてポールが回転するのを防ぎます。※4ページ目の『回転止めの使用方法』をご参考下さい。

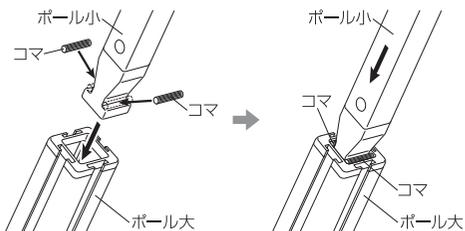
ポールを伸ばし過ぎた場合

ポール（大）の天井受盤側を下にさげ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面向け、
①ポール（小）を手で握り軽く引き抜く（出す）と内部ロックが解除されますので、
②手で握ったままゆっくりと差し込んで（短くして）下さい。差し込むスピードが速いとロックがかかってしまいます。その場合は①をもう一度行ってください。止まってしまう場合はつっぱり棒をできるだけ垂直になるようにして（上下が逆の状態）、①②を何度か繰り返して下さい。



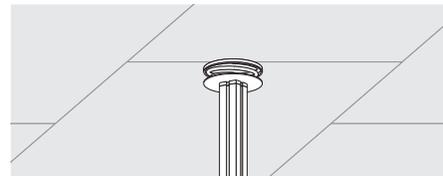
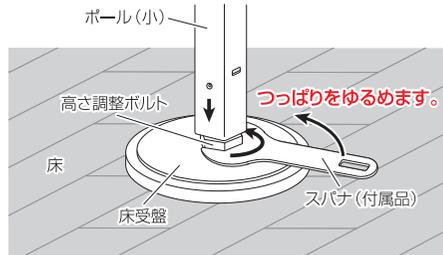
ポールが外れてしまった場合

ポール（大）の天井受盤側をできるだけ下に下げて（垂直に近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込み、ポール（小）の先端近くに抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んで下さい。なお、途中で止まった場合は、上部の『ポールを伸ばし過ぎた場合』を参考に作業を行ってください。



本体を外す場合

本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品のスパナで右に回してつっぱりを緩めてください。その後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。

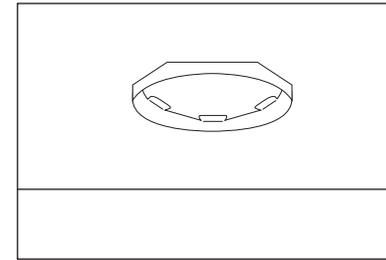


本体を外す場合 (エアースペーサー使用時)

基本的な取り外し方法は左記『本体を外す場合』と同じ手順となります。

本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品のスパナで右に回してつっぱりを緩めて下さい。その後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外して下さい。

浮かす際に、特殊面ファスナーの床受盤裏側と床側をしっかりと離して下さい。

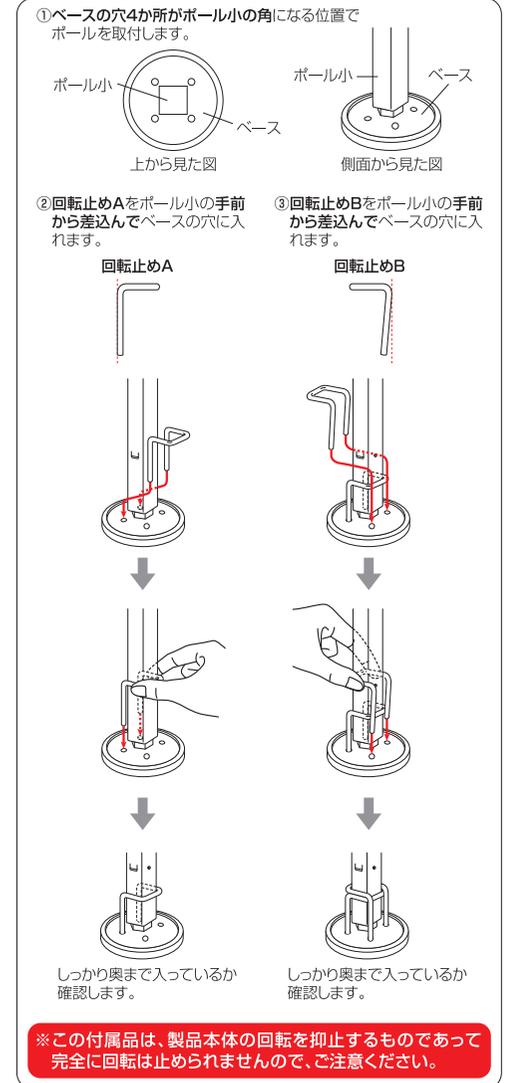


ずらしてポールを外す際、エアークャップが天井受盤から離れ天井に取り付いたまま取れない場合があります。その場合はエアークャップのみ天井から取り外して下さい。取り外す作業時、安全面には十分注意して作業を行ってください。

エアースペーサーを使用しない場合は梱包されていた箱に保管しておいて下さい。梱包時にエアークャップの鋭利部に付いていた段ボールは捨てずに、保管する際また取付けておいて下さい。

回転止めの使用方法

この部品は回転防止部品となります。回転をしない様につっぱり棒を設置後、取付けを行って下さい。



スピーカー取付け金具の設置に関してのご注意

安全にお使いいただく為の重要事項

- 実際に組み立てる前に、本取り付け説明書をよく読み、組み立ては本取り付け説明書に従い慎重に行ってください。
- 各部品は、本来の目的に即して使用するよう、ネジの大きさ・長さなど、ご注意ください。

【事故損傷について】

誤った組み立て、取り付け不良、取り付け強度不足、本来の目的以外の利用、および、天災等による事故等については一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

推奨工具 ・水平器 ・プラスドライバー

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷を負う恐れがある内容を示します。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我をしたり家屋や家財などに損害を受ける恐れがある内容を示します。

十分に注意する内容を示します。 **必ず指示に従って行う内容を示します。**

絶対にしてはいけない内容を示します。

- 警告** 耐荷重を超えるスピーカーやネジ穴の合わないスピーカーのお取付けは行わないで下さい。無理に取り付けたり、故意に強い衝撃を与えると金具が外れ、破損や怪我をする恐れがあります。
- アタッチメントを取り付ける際には、しっかりとボルト等の締め付けを行ってください。締め付けが緩い場合に、アタッチメントやスピーカーが落下し、破損や怪我をする恐れがあります。
- 定期的にネジの緩みがないか確認して下さい。緩んでいた場合は再度ネジを締め付けて下さい。次のような場所には設置しないでください。スピーカーが落下して怪我や故障の原因になります。
 - ・屋外や海岸、温泉に近い場所
 - ・動力用電源配線、空調機器に近い場所
 - ・人がぶらさがったり、寄りかかったりするような場所
 - ・ぐらついたり、傾いた不安定な場所
 - ・振動や衝撃のある場所
- 既に他のエアースポール金具をお取付済の場合は、一旦、他の取付済のアタッチメントを外す作業が必要な場合がございます。その際はお取付け手順をご確認の上、安全を考慮して行って下さい。
- スピーカーを取り付けたまま、つっぱり棒の移動・取り外しは行わないで下さい。必ず下記の手順で作業を行ってください。
 - ①スピーカーの配線を抜く → ②スピーカーを取り外す → ③エアースポールを取り外す
- 商品の分解・改造及び部品の改造は絶対にしないでください。

※上記に関して問題が生じた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。お客様ご自身で安全面等判断し、十分に注意したうえでご使用願います。

※本製品は、必ず定められた重量内のスピーカーをご使用ください。

パーツリスト

※実際の部品と図は多少異なる場合がございます。

※AP-SWB101 は下記が全部品になります

- a. スピーカーブラケット…2個
- ※bと似ていますが大きい方がaです。

- l. スピーカー固定用 M8 ネジ…4個

- b. 取付プレート (エアースポール側)…2個

- m. ワイヤー抜け防止ピン…4個

- c. M5 ワッシャー…4個

- d. M5 ロックワッシャー…4個

- e. M8 ロックワッシャー…4個

- f. プレート固定ネジ…2個

- g. ナット…2個

- h. M8 ワッシャー…6個

- i. バタフライナット…2個

- j. セキュリティワイヤー…2個

- k. スピーカー固定用 M5 ネジ…4個

アタッチメント部品

※下記の aa, bb, cc は P2, P3 で説明しているため、記載を重複しています。

- aa. アタッチメント…2個

- bb. コマ…4個

- cc. アタッチメント取付用皿ネジ…4個 (滑り止め加工を施してます)

- dd. 金具取付け用ネジ…4個

- ee. 座金…4個

- ff. スプリングワッシャー…4個

※使用しない部品

- コンクリートアンカー…8個

右記部品は壁掛け用ですので取付けには使用しません。

- タッピングビス…8個

P5

1 アタッチメントに取付プレートを固定する
 ※先にスピーカーを取り付ける位置を決めて下さい。

各金具取り付けに使用する穴の位置
 上
 下
 棚受け取付け穴

P2 or P3 の手順で取付け、ポール設置時にアタッチメントを、スピーカーを取り付けたい位置に調整し固定しておきます。

2 スピーカーブラケットにお手持ちのスピーカーを取付ける
 組み合わさって納品されたスピーカーブラケットと取付プレートを蝶ネジを外して分解し、落下防止ワイヤーも外します。

お手持ちのスピーカーのネジ穴に、スピーカーブラケットを合わせ、ネジ穴のサイズに合わせてワッシャー (c,h)、ロックワッシャー (d,e)、ネジ (k,l) で固定します。

※付属のネジでお取付け出来ない場合は別途ご用意下さい。

3 取付けプレートとスピーカーブラケットを組み合わせる

プレート固定用ネジ (f) を、スピーカーブラケット (a) の連結部分に取り付け、ナット (g)、取付プレート (b)、M8 ワッシャー (h)、バタフライナット (i) の順に取り付けます。

4 セキュリティワイヤーを取り付けて完成 (j はa,b両方取り付けてください)

以下のネジでそれぞれの角度調節を行います
 上下角度調節蝶ネジ
 回転角度調節ネジ 取付面側も含めて6点固定したい場合はそれぞれのネジを締めてください。

※ワイヤー抜け防止ピンは固くなっております。取付け・取り外しの際は怪我にご注意下さい。
 ※ワイヤー抜け防止ピンのデザインや大きさは図とは異なる場合がございます。

落下防止はあくまでも「瞬間落下防止」ワイヤーです。構造上、ワイヤー先端よりも金具の穴の方が大きく、直角になるとすり抜ける (落下する) 可能性がございますので、必ず抜け防止のピンを使用して下さい。仮にスピーカー落下事故が起こった場合、放置せずすぐに処置をしてください。

5 同様の手順でもう片方も取付けます(下のイラストは取付け例です)

スピーカーの位置を調整する際は、スピーカーを取り外してから行って下さい。高い場所へのお取付けは安全を確認した上で行って下さい。